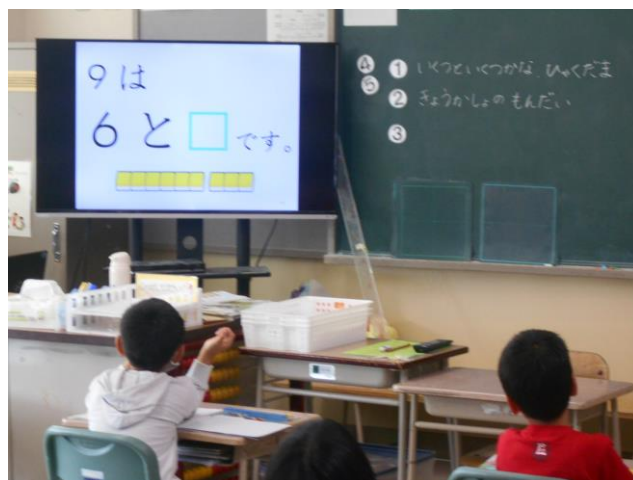


# 数量感覚を育てる(1年生)



1年生の算数の学習の様子です。「百玉そろばん」を使いながら「2と8で10」などのように10を作るための組み合わせを繰り返し覚えていました。

テレビ画面には9を作るための組み合わせに関する問題が映っていました。数量感覚を育てることで計算のスピードがあがっていきます。



算数用のブロックを使って確認しています。見るだけではなく実際に作ってみることも知識の定着にはとても大切です。



同じ時間の2年生の学習の様子です。繰り下がりのあるひき算の筆算について学習していました。子どもたちが苦手とする単元です。スムーズに学習に取り組むためには1年生の時から数量感覚の積み重ねが大切です。それぞれの学年でしっかりと学習事項を定着させることが次の学年の学習につながります。

